



私たちの生活と海

～マイクロプラスチックの脅威～



海にあるたくさんのゴミ。それらと私たちは深く関わっているということを知っていますか？

➡ 海洋ごみのほとんど(800万トン)がプラスチック！

○マイクロプラスチックとは

プラスチックが紫外線や波により劣化して小さな破片となったものです。およそ180万トンもあります。

➡ どんな影響があるの？



○捨てられたゴミが海に及ぼす影響

魚たちが間違えて食べてしまい、命を落としてしまいますが、量も多く小さいので回収が難しく、海に残り続けます。また、海が汚くなると海の酸素がなくなり、魚たちが暮らせなくなります。

➡ 私たちにできることは？

○悪いゴミの旅

- ①ポイ捨て
- ②用水路へ
- ③川まで流れる
- ④海にたどり着く
- ⑤魚たちが食べてしまう
- ⑥魚たちが死んでしまったりしてしまう

○良いゴミの旅

- ①そもそもゴミを発生させない
- ②ごみになってしまったものはリサイクル または分別してゴミ箱へ
- ③新たな資源として使われる

右のマイクロプラスチックはもともと何だったのでしょうか？

ヒント💡

浮遊するゴミの中で一番多いプラスチック



答えは**人工芝**です。

人工芝は、海の近くにはないため、疑問に思った人もいます。しかし、いつの間にか外に出て雨などにより海に流れ着いているのです。

便利なプラスチックは私たちにより自然に大きな怪我を負わせています。私たちと海は繋がっています。繋がっているからこそ海は変えられます。「わかっている」ではなく「やってみる」ということを大切にしましょう！

自分の町・暮らしを守る事ができるのは自分だけ！



【クイズ】

プラスチックが自然分解されるまでにかかる時間はどれくらいでしょうか？

答え

400年～1000年

